

こっから先に入っちゃ駄目よっていう所だから。こっから線を入っちゃったら、ちょっと危ないよっていう。当時の歌舞伎町、こっから入ったら。っていうのは、ちょっと危ない所があったわけ。こっから入っちゃうと、姉さん、ちょっと呼んでって。おいでなさいよっていう、こういう感じの場所だったよね。地球会館辺りまでだったら。

即日金額、払い戻しいたします。いわゆるクラブ。じゃあ、当日だけの。そうです。そういう広告をいっぱい、僕らも流して。面接を2時にして、その後、お店に出て、終わり。そういうことですね。月給1000円ってのは、すごかった。日給制ですね。日給1000円なんてのは、普通は200円か、300円でしょう？ その時代…。普通の人ね。だから、日給1000円っていうのは、すごい。

旧暦のお盆ってね。それが8月なんです。何日なんですか。8月13日から。田舎のほう、多いよね。だけど、普通の新お盆っていうのは、7月の13日が普通なんです。そうなんですか。そうなんです。8月と9月じゃないんですか。昔は東京23区は7月。武蔵野市は東京都下。都下だったの。都下っていうのは、侮辱してるっていうんで反対があって、武蔵野市とかになっちゃったわけ。だから都内の人ね、ちょっとグレードが高い言い方してたわけです。

私のおばさん、吉祥寺の隣の武蔵小金井にいたの。そしたら、「おまえんとは旧か。駄目だな」って。駄目だなって。 (複数声かぶさり起こし不可) こっちにいる人は7月が当たり前で、当たり前じゃないわけですね。8月は。今はみんな、お盆っていうと8月になっちゃったもんね。言葉が。結局、やぶ入りとかなんか、流れちゃったから。やぶ入り？ やぶ入りっていうのは、田舎から店員さんで来る小僧さんが、年に2回、盆と正月に帰るとき、唯一の。

みんな、ふじっていうのになってしまいましたね。昔は違ってたんですか。昔はそうじゃなかったんですか。いろいろ、国光っていうの…。あと、インドリンゴ。インドリンゴっていうのは、ちょっと硬い。…インドリンゴなんてのは、なくなっちゃったね。なくなっちゃったね。果物、こないだ行ったら、インドリンゴありますって書いてましたよ。あの駅の近くの果物屋でしょ？

あれは、うちのほうではリンゴが入ってたんだけど、石油箱つつってたのね。私は農家でしょ。出荷するのに、基準があんのリンゴ箱の大きさで、でも石油箱って、なんで石油箱かって言ったら、一斗缶の缶が二つ入ったんですよ。だから、すごくまく巡回するわけ。それに詰めて市場に出荷する。だから、回し箱だよ。しよっちゅう。箱ごと買って、また箱を生産してくれて。段ボール箱だと雨に弱いし、木はかなり傷むまで使ってたね。補修して。

六アーカイブ: an-archive
せたがやアカカブの会 vol.11 前半
日時: 2017年8月5日(水) 19:00 ~ 19:45
場所: 生活工房ワークショップルームA
参加者: 12名
世話人: 3名
1963(昭和38)年 / 西東京市 / モノクロ / 2分

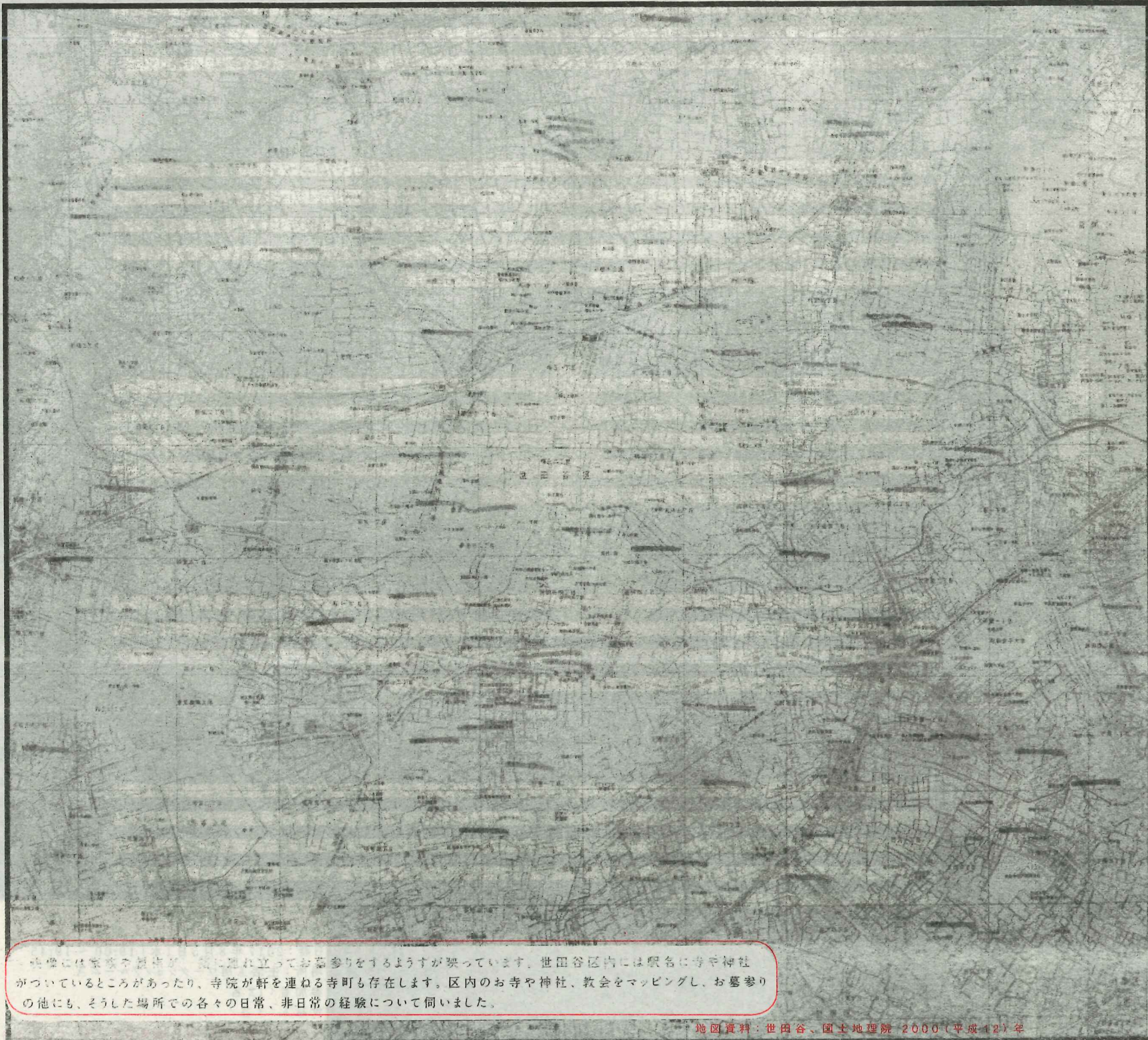
穴アーカイブ: an-archive

記録を残すという営みを、記録が残らないこと、すなわち、記録の不在(穴)から捉え直す反(an)アーカイブ的アーカイブの試み。昭和30～50年代にかけて市販された8ミリフィルムという映像メディアに着目し、世田谷のまち、ひと、くらしに光をあてる。2015年から始動。



せたがやアカカブの会: The setagaya akakabu circle

穴アーカイブにおいてデジタル化した映像を、じっくり観ながら語り合う小さな集いの場。ほぼ隔月で開催。開催予定、上映内容は、生活工房HPまたは<お問い合わせ>からご確認下さい。一見さん大歓迎。本誌<かぶうずら、やまいもうなぎ>は、当会の断片的・公式活動記録。



映像には家や建物が、風に揺れ立てるお墓参りをするようすが映っています。世田谷区内には駅名に寺や神社がついているところがあったり、寺院が軒を連ねる寺町も存在します。区内のお寺や神社、教会をマッピングし、お墓参りの他にも、そうした場所での日々の日常、非日常の経験について伺いました。

地図資料: 世田谷、国土地理院・2000(平成12)年

新聞の求人広告欄も、当時のことを思い出すきっかけや、時代を知る情報源になったりします。右のアルバイトサロンの広告では、日給1,000円日払いであることが書かれています。左の「ムーランルージュ」は、新宿歌舞伎町にあったキャバレーです。前回の銀座につづいて、今回も盛り場の記憶が語られました。

出典: 読売新聞 1963(昭和38)年3月15日(金)朝刊8面

ムーランルージュ

◎面接 毎日3時より
新宿歌舞伎町地球会館8階

連日盛況！
これが当店
の特徴です
最高の収入で優
遇しお客様の心
配はありません
・初めての方には親切に
指導致します
・売上の心配は皆無
・衣装貸与 宿舎完備
◇パートタイム勤務の方
も歓迎しておりますの
で是非一度お越しさい

3月23日新開店！

五反田月世界4階に誕生！
純アルバイトサロン
(2～3階・クラブ)

日給 一〇〇〇円

即日金銭払い戻し
いたします。
・衣装は自由です
・アルバイトサロン
は7時～11時半動
☆宿舎エレベータ完
面接 毎日二時より
気軽にお越し下さい

五反田駅前
有楽町中央(441)
0201-31598

かぶうずら、やまいもうなぎ アカカブの会の記録2017 no.3
発行日: 2017年10月25日

お問い合わせ: 生活工房 03-5432-1543 info@setagaya-ldc.net
編集: せたがやアカカブの会世話人(松本麻、八木寛之、成田海渡、ブルサコワありな)
主催・発行: 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
http://www.setagaya-ldc.net/
企画制作: ramo [NPO法人記録と表現とメディアのための組織]
後援: 世田谷区、世田谷区教育委員会

本誌の無断転写、複製、転載を禁じます。